

事業番号	09 02 13	事業改善シート（26年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	原木栽培きのこ等安定供給推進事業			担当課	部局	林務部	
					課・室	信州の木振興課	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり 4 様々な主体の関わりによる森林の適正管理と多様な利活用の推進			実施期間	H26 ~	

1 事業の概要

目指す姿	原木栽培きのこ生産者の経営の安定と生産量の増加を図るため、生産者への支援を行い、農山村において主要な産業である特用林産物の振興と地域の活性化を推進する。														
現状	○東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の影響により、全国的な原木栽培きのこの販売価格の低下、主要な原木の産地であった福島県からの原木の出荷停止、それらによる原木不足や原木の高騰等が生じており、生産者の経営を逼迫するとともに、生産量の減少がおきている。														
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 モニタリング検査は県が実施するものである。特用林産施設体制整備事業実施要綱。 森林整備加速化・林業再生事業費補助金実施要綱					県民との協働による実施：可能								
事業内容	① 成果目標 (H26)														
	○原木しいたけ生産量165tが目標 ○平成24年度実績134t、H28年度には、東日本大震災前の原木しいたけの生産量、200tを目指す。														
	② 事業内容 (単位:千円)														
		項目	実施方法	H26実施内容	H25 (当初)	H26 (要求) (予算案)									
		原木栽培きのこ等生産力増強対策事業	補助	・被災地の復興、特用林産施設の効率化のための、次期生産に必要な生産資材の導入を支援。 ・販路開拓に向けた活動支援		17,724	35,907								
	放射性物質検査体制強化事業	直接	・放射性物質検査器具の充実を図り、風評被害を払拭する。		1,760	497									
		直接	・検査体制の強化とデータ整理等により、風評被害を払拭する。		242	0									
	合計			0	19,726	36,404									
事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26要求	26予算案	成果目標の達成状況								
	予算額	前年度繰越						項目	H25末 (見込)	H26		H27 目標			
		当初予算				19,726	36,404			目標	成果		達成状況		
		補正予算								原木しいたけ 生産量	150 t		165 t		
		合計(A)	0	0	0	19,726	36,404								
	Aの財源	国庫支出金				18,604	17,936								
		県債													
		その他(繰入金)					18,219								
		一般財源	0	0	0	1,122	249								
	決算額(B)														
概算人件費	職員数(人)				0.05	0.05									
	概算人件費(C)	0	0	0	413	413									
	概算事業費(B(A)+C)	0	0	0	20,139	36,817									
指摘事項等への対応	(指摘事項等)					(対応)									
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善															
要求からの主な変更点	国の経済対策等に対応し、生産資材の導入に対する補助を増額。 放射性物質検査器具の配置方法等の見直しによる減額。														